

## 【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年5月12日
【会社名】	麒麟ホールディングス株式会社
【英訳名】	Kirin Holdings Company, Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 磯崎 功典
【本店の所在の場所】	東京都中野区中野四丁目10番2号
【電話番号】	03(6837)7015
【事務連絡者氏名】	コーポレートコミュニケーション部長 堀 伸彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区中野四丁目10番2号
【電話番号】	03(6837)7015
【事務連絡者氏名】	コーポレートコミュニケーション部長 堀 伸彦
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2021年10月1日
【発行登録書の効力発生日】	2021年10月11日
【発行登録書の有効期限】	2023年10月10日
【発行登録番号】	3 - 関東 1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 300,000百万円
【発行可能額】	300,000百万円 (300,000百万円) (注)発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段( )書きは発行価額の総額の合計額)に基づき算出しております。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2022年5月12日(提出日)であります。
【提出理由】	2021年10月1日に提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書を提出します。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

【訂正内容】

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行社債】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本発行登録の発行予定額のうち、金(未定)円を社債総額とする麒麟ホールディングス株式会社第21回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(ソーシャルボンド)(以下「本社債」という。)(別称：麒麟ホールディングスソーシャルボンド)を、下記の概要にて募集する予定です。

各社債の金額 : 1億円

発行価格 : 額面100円につき金100円

2 【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)

未定

(訂正後)

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

引受人の氏名又は名称	住所
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京都港区六本木六丁目10番1号

(注)元引受契約を締結する金融商品取引業者は上記を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本社債の払込金額の総額(未定)円(発行諸費用の概算額は未定)

(2) 【手取金の使途】

(訂正前)

設備資金、投融資資金、運転資金、借入金返済資金、コマーシャル・ペーパー償還資金及び社債償還資金に充当する予定であります。

(訂正後)

設備資金、投融資資金、運転資金、借入金返済資金、コマーシャル・ペーパー償還資金及び社債償還資金に充当する予定であります。

本社債の手取金は、全額を適格クライテリアを満たすソーシャルプロジェクト(下記「募集又は売出しに関する特別記載事項 キリン・サステナブルファイナンス・フレームワークについて 1. 調達資金の使途」に記載します。)に関連する新規支出及びリファイナンスに充当する予定であります。なお、実際の充当時期までは、現金または現金同等物にて管理します。

「第一部 証券情報」「第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

#### 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<キリンホールディングス株式会社第21回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(ソーシャルボンド)に関する情報>  
ソーシャルボンドとしての適合性について

当社は、以下のとおり、「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」(グリーン・ソーシャル・サステナビリティファイナンス・フレームワーク)(以下「本フレームワーク」という。)を策定しました。本フレームワークは、「グリーンボンド原則2021年版(ICMA)」(注1)、「ソーシャルボンド原則2021年版(ICMA)」(注2)、「サステナビリティボンド・ガイドライン2021年版(ICMA)」(注3)、「グリーンボンドガイドライン2020年版(環境省)」(注4)、「ソーシャルボンドガイドライン(金融庁)」(注5)、「グリーンローン原則(LMA)(APLMA)(LSTA)」(注6)並びに「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版(環境省)」(注7)との適合性に対するオピニオンをDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(以下「DNV」という。)より取得しております。当社は、本フレームワークに基づき、ソーシャルボンドを発行いたします。

(注1) 「グリーンボンド原則2021年版(ICMA)」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会(Green Bond Principles Executive Committee)により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインです。

(注2) 「ソーシャルボンド原則2021年版(ICMA)」とは、ICMAが事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会(Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee)により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドラインです。

(注3) 「サステナビリティボンド・ガイドライン2021年版(ICMA)」とは、ICMAにより策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドラインです。

(注4) 「グリーンボンドガイドライン2020年版(環境省)」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドラインです。

(注5) 「ソーシャルボンドガイドライン(金融庁)」とは、ソーシャルボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がソーシャルボンドに関する具体的対応を検討する際に参考となるよう、いわゆる先進国課題を多く抱える我が国の状況に即した具体的な対応の例や解釈を示すことで、ソーシャルボンドを国内でさらに普及させることを目的に、金融庁が2021年10月に策定・公表したガイドラインです。

(注6) 「グリーンローン原則(LMA)(APLMA)(LSTA)」とは、グリーンボンド原則を踏まえてローン・マーケット・ア

ソシエーション(LMA)等により策定された環境分野に用途を限定する融資のガイドラインです。ここで「グリーンローン」とは、調達資金のすべてが、新規または既存のグリーンプロジェクトの全部または一部の初期投資またはリファイナンスのみに充当される様々な種類のローンとされます。

(注7) 「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版(環境省)」とは、環境省が2020年3月に策定・公表したガイドラインです。同ガイドラインは、グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンを国内でさらに普及させることを目的として、グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンの市場において国際的に広く認知されているグリーンローン原則及びサステナビリティ・リンク・ローン原則との整合性に配慮しつつ、借り手、貸し手その他の関係機関の実務担当者がグリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示しています。

## キリン・サステナブルファイナンス・フレームワークについて

### 1. 調達資金の用途

キリン・サステナブルファイナンスで調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たす適格プロジェクトに関連する新規支出及びリファイナンスへ充当します。なお、リファイナンスの場合は、キリン・サステナブルファイナンス実行時点から5年以内に実施した設備投資に係る支出または3年以内に発生した費用に係る支出に限ります。実行するファイナンスに応じて、以下のプロジェクトカテゴリへの資金充当を行います。

- ・ グリーンファイナンス：グリーンプロジェクト
- ・ ソーシャルファイナンス：ソーシャルプロジェクト
- ・ サステナビリティファイナンス：グリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクト

### 適格クライテリア

#### [ グリーンプロジェクト ]

大項目	プロジェクト	グリーンボンド原則 プロジェクトカテゴリ	SDGsとの整合性
省エネルギーに関する事業	・ 工場におけるヒートポンプシステムの導入	・ 省エネルギー (環境目的：気候変動の緩和)	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 13. 気候変動に具体的な対策を
汚染防止と管理に関する事業及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに関する事業	・ 再生PET樹脂の調達・設備投資	・ 汚染防止と管理 (環境目的：汚染防止と管理) ・ 環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセス (環境目的：天然資源の保全)	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 12. つくる責任つかう責任 14. 海の豊かさを守ろう

再生可能エネルギーに関する事業	・工場における太陽光発電設備の導入 ・再生可能エネルギーの調達	・再生可能エネルギー (環境目的：気候変動の緩和)	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 13. 気候変動に具体的な対策を
-----------------	------------------------------------	------------------------------	---

[ ソーシャルプロジェクト ]

大項目	プロジェクト	ソーシャルボンド原則 プロジェクトカテゴリ	SDGsとの整合性
主に乳幼児の健康増進/病気予防を通して健康・長寿社会の達成に貢献する事業	・ヒトミルクオリゴ糖製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	・必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理) (対象となる人々：一般大衆)	2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
脳機能パフォーマンス向上と衰え予防を通して健康・長寿社会の達成に貢献する事業	・シチコリン製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	・必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理) (対象となる人々：一般大衆、高齢者、患者)	2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
免疫機能の維持を通して健康・長寿社会の達成に貢献する事業	・プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	・必要不可欠なサービスへのアクセス(健康・健康管理) (対象となる人々：一般大衆、高齢者、脆弱な若者)	3. すべての人に健康と福祉を 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

除外クライテリア

キリン・サステナブルファイナンスで調達された資金は下記に関連するプロジェクトには充当しません。

- ・プラスチック製造についてはリサイクルペットを対象としていないもの
- ・所在国の法令を遵守していない不公正な取引、贈収賄、腐敗、恐喝、横領等の不適切な関係
- ・人権、環境等社会問題を引き起こす原因となり得る取引

## 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

当社の経理部及びCSV戦略部が上記「適格クライテリア」にて定めた適格プロジェクトを選定し、選定された適格プロジェクトの最終決定は財務戦略担当執行役員が行います。事業の適格性については、CSVパーパス(注)達成への貢献性を総合的に評価しています。

(注)「CSVパーパス」とは、当社グループの長期経営構想「キリングroup・ビジョン2027(KV2027)」の長期非財務目標として、社会と価値を共創し持続的に成長するための指針です。

## 3. 調達資金の管理

当社ではキリン・サステナブルファイナンス実行による手取金について、全額が償還/返済されるまで、半期毎に当社の経理部が内部管理システムを用いて調達資金の充当状況を管理します。調達資金は資金調達から1年以内に適格プロジェクトに充当予定であり、キリン・サステナブルファイナンスの調達資金の全額が充当されるまでの間は、現金または現金同等物にて管理されます。

## 4. レポーティング

### (1) 資金充当状況レポーティング

当社は、適格クライテリアに適合するプロジェクトに調達資金が全額充当されるまで、プロジェクトについて機密性を考慮しつつ、調達資金の状況(プロジェクト名称、進捗状況を含むプロジェクトの概要、充当額及び未充当額)を年次でウェブサイト上に公表します。

また、長期にわたり維持が必要である資産について、複数回のキリン・サステナブルファイナンスの実行を通じてリファイナンスを行う場合には、キリン・サステナブルファイナンス実行時点における当該資産の経過年数、残存耐用年数及びリファイナンス額を開示します。

なお、調達資金の全額充当後、大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は、適時に開示します。

### (2) インパクト・レポーティング

当社は、キリン・サステナブルファイナンスの実行から償還/返済までの間、以下の指標を実務上可能な範囲で年次で当社ウェブサイト上にてレポーティングします。

#### [グリーンプロジェクト]

大項目	プロジェクト	レポーティング事項
省エネルギーに関する事業	・工場におけるヒートポンプシステム導入	・GHG削減量(t-CO <sub>2</sub> )
汚染防止と管理に関する事業及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに関する事業	・再生PET樹脂の調達・設備投資	・リサイクル樹脂の使用比率(%)
再生可能エネルギーに関する事業	・工場における太陽光発電設備の導入 ・再生可能エネルギーの調達	・GHG削減量(t-CO <sub>2</sub> )

[ ソーシャルプロジェクト ]

大項目	プロジェクト	アウトプット	アウトカム(注) (対象となる人々にもたらされる便益や変化(成果))
主に乳幼児の健康増進/ 病気予防を通して健康・ 長寿社会の達成に貢献す る事業	・ ヒトミルクオリゴ糖 製造に資する設備投 資・運営・原材料の調 達	・ ヒトミルクオリゴ糖 製造能力の増加	・ 幅広い地域・年齢層の お客様の健康増進に貢献 するヒトミルクオリゴ糖 配合製品(粉ミルク・健康 食品など)の国内外の使用 者数の増加
脳機能パフォーマンス向 上と衰え予防を通して健 康・長寿社会の達成に貢 献する事業	・ シチコリン製造に資 する設備投資・運営・ 原材料の調達	・ シチコリン製造能力 の増加	・ お客様の脳機能のパ フォーマンス向上と衰え 予防に貢献するシチコリ ン配合製品(医薬品・健康 食品など)の国内外の使用 者数の増加
免疫機能の維持を通して 健康・長寿社会の達成に 貢献する事業	・ プラズマ乳酸菌の研 究開発及びプラズマ乳 酸菌原料粉末の製造に 資する設備投資・運 営・原材料の調達	・ プラズマ乳酸菌の製 造能力の増加 ・ 論文発表 ・ 学会での発表 ・ アカデミアとの提携	・ お客様の免疫機能維持 に貢献するプラズマ乳酸 菌の国内外の継続摂取人 数の増加

(注) それぞれのプロジェクトにおける使用者数を年次でレポートिंगすることを想定しています。